

〔翻刻〕『北野藁草』卷二(三)

佐藤信一

前稿〔「翻刻」〕『北野藁草』卷二(一)〔「国文白百合」四〇号、二〇〇九年三月刊、〔「翻刻」〕『北野藁草』卷二(二)〕『国文白百合』四一号、二〇一〇年三月刊〕に引き続き『北野藁草』を巻二の途中から翻刻の形で紹介したい。

底本には内閣文庫蔵の一本(和一五九七〇、一五八・二三一)を用いた。

翻刻に際しては原本の字配りに従った。丁数は、「橘廣・相」字、朝「(一オ)」のように、文末を「」で示し丁数と表裏をオ、ウとすることで示した。返り点が抜けていると考えられるものは○に入れて補った。なお、上欄外の注に図録編との対応を示すもの(例えば一のオに「圖一ノ四」とあるもの等)は、省略に従った。ただ、内容に関する注記は「」で示した。また、上欄外の注における改行を「/」で示した。さらに、原本でも欠字を示す記号として「□」が用いられている(二五オ、二五ウなど)ので、欠字を「□」示した。

岩波大系(川口久雄氏校注)『日本古典文学大系72菅家文章・

菅家後集』一九六六年一〇月刊)との校異のあるものを「*」で示し、各丁の後に校異を示した。

異体字は本字に戻すことを原則としたが、「道」の異体字「𠄎」と、「事」を表す「亓」に関してはそのまま残した。

この翻刻は、数年間に涉って継続された漢文学演習『北野藁草』を読む」での成果に基づく。今年度の履修者、かつ担当者、中村月香、長谷部友里、東すみれ、松本すみれ、大平美希、小野幸栄、加藤愛美、鎌田玲沙、岸本早紀、木村美穂、熊谷優梨子、近藤夕菜、作田徳子、鈴木怜奈、田中瑞穂、長野宏美の各氏である。また、今回は全員分の翻刻を掲載するに至らなかった。慙愧の極みである。今回、掲載に至らなかった部分に関しては今後、形にして行こうと思っている。

今回も前回に引き続き、翻刻にとどめたが、何れは簡便な注を施した上で、釈文を作成する所存である。

(本学教授)

【翻刻】

相求、自レ斯_レ可_レ察。天道、遠_レ而人道、近、已_ニ雖_レ云_レ決_ニ之_ヲ推尋_ニ。

先覺少_レ而後覺、多、亦復歸_ニ之_ヲ冥昧_ニ。以類聚_レ之、以群分_レ。

之。五月、丙丁、日至而泰山崩、四方、川谷、氣通而颯風

發。即知、幽荒之迹、蓋五大山之往還。變動之間、或六

萬歲之交載。復有老聃、玄聖、稱_ニ吾師_ニ於天竺_ニ者、此乃 *萬……方

釋迦也。孔子、素王、縱_ニ惟聖_ニ於西方_ニ者、此亦釋迦也。言_ニ

其教化_ヲ、則西漢已至、豈獨東漢、觀_ニ其容儀_ヲ、則丈八猶

存、不_レ唯丈六_ニ。雖_ニ則立_レ功立_レ事、義理各殊_ニ、然而有_レ國有_レ

家、歸依_レ是一。遂有_ニ東踊_ニ西沒_ニ、南震_ニ北沒_ニ、如是輪轉_ニ、爲_ニ(二九九ウ)

上欄外_ニ「左貞元_ノ丙子五月_ノ月_ノ丁丑_ノ六月_ノ災_ノ讀書御_ノ作_ノ有_レ迹_ノ崇_ニ尼父_ノ無_レ爲_レ拜_ニ老君_ノ左事_ニ

釈迦_ノ續高僧_ノ傳迦畢_ノ試國王_ノ歲造_ニ銀_ノ像_ノ。高丈_ノ八_ノ」ト注記ス。

六六三十六之義_ト。遍踊遍震、遍動遍搖、如_レ是分別、爲_ニ

上中下各三之義_ト。六震動之名、三因緣之別、詳_ニ于念

佛三昧經_ニ、見_ニ于大智度論宗_ニ者也。道_ノ望_ニ崇_ニ江漢_ニ、還 *道……道真

愧_ニ測海_ノ之非_レ才_ト。思_レ採_ニ風霜_ニ、自迷_ニ凌雲_ノ之有_レ道_ト。況_ヤ事屬_ニ

幽冥_ニ、談難_ニ視聽_ニ。姬水魯山、未_レ遑_ニ於側_ニ足_ト。漆園雙樹、何

縱_ニ於遊_ニ心_ト。苟解_レ環_ノ之不_レ分_ト。誰_レ槌_レ鼓_ノ之無_レ訴_ト。謹對。

都氏文集云。評_ニ定文章得業生_ト。正六位下。行_ニ下野權

椽。菅原對文_ヲ一事。明_ニ氏族_ヲ。辨_ニ地震_ヲ。今校_{スルニ}所_レ對_ニ初條_ニ云。餘

是荆安之族。源出_ニ由餘_ト。餘_ハ對_ニ穎川_ノ之人_ト說通_ニ應邵_ト。案_ニ(三三〇オ)

姓氏譜_ニ云。餘氏者夏_ノ少康_ノ之苗裔_ト。越王勾踐_ノ子聚_ト、爲_ニ

顧餘侯_ト。其後子_ノ孫相分_ト、或爲_ニ顧_ニ氏_ト、或爲_ニ餘氏_ト。餘氏宗

族、多在_ニ汝_ノ南_ト。歷代以來文字訛_レ謬_{シテ}、在_ニ北_ト正存_ニ餘氏_ト、向_ニ

南_ト誤_ニ爲_ニ餘氏_ト。而對_ニ文偏_ニ尋_ニ秦_ノ、卿由_ニ餘之本_ト、未_レ辨_ニ夏_ノ、胤

變餘之疑。遂分餘々之一枝。誤爲疎隔之二族。又云

射鴻臚之後。出自漢季。而育三輔。謝靈運之先。出三陳

留而流三千載。案三輔決錄注。射援扶風人。其先本。姓

與北地謝同。始祖謝服。爲將軍出征。天子以三謝服。非

令名。改爲射子孫氏焉。遂有前射後射。然則謝服謝授。〔三〇ウ〕

其族同故。別以三前。後。至于謝威靈運。其定既殊。誰疑其

同。異。讀問置對。豈如此乎。又水輿當作響。鳴鑪宜爲

臚。凡詞人之用思也。必須前。後相承。定其區致。若理

失通。允之次。則文無依託之方。至如後條取引。時豈

泰而安之哉。計不可得已也。之句可謂下客居一處

不得其偶者上也。又萬言海。水。雖得遊鳧之談。探跡幽

荒。未能鼻禽之怒。理窟難究。空疲五大山之往。還一思。

風妄吹。徒苦三六方歲之交載。又所引念佛三昧經。及

大智度論。只舉三六踊六使之體征。不分各六合三之〔三二才〕

因緣。又問頭之中。脫落名。字。況亦病。累類發。乖違格。

律。然而但織詞章。其體可觀。准之令條。文乎理相通

仍置之中上。

列子云。丘聞西方有大聖人。不化而不亂。不言而

自信。不化而自行。蕩々乎民無能名之焉。

傳教大師將來錄。鄭審。則印記云。孔夫子云。吾聞

西方有聖人焉。其教以清淨無爲爲本。不染不着

爲妙

大論云。云何六種動。東。踊西。沒。西。踊東。沒。南。踊北。〔三二ウ〕

上欄外二都氏文集評定。清原善胤高階。茂範。永。世有守。高向利。人。文室。長者。賀。茂時令。御船弘。方。并爲丁第一。惟良高望。大神良。臣。興道。春定。藤。原興範。三原

今／岳。藤原／助猷。麻／續良高／并落第。／三國有／行。平是／世。中原」ト注記ス。

沒。北。踊南。沒。邊。踊中。沒。中。踊邊。沒。問曰。何以故正

有六種。動答曰。地。動。有上中下。下者二種。動。或東

踊西。沒。或南。北。或邊中。中者有。四。或東。西南。北。或

東。西。邊。中。或南。北。邊。中。上者六種。動。有種々因縁。

令。地。大。動。如。別。說。復。次。有。人。言。四。種。地。動。火。動。龍。

動。金。翅。鳥。動。天王動。上下略。念佛。三昧經。今時。大藏中。無

御文章云。奉。和。王。大。夫。賀。對。策。及。第。之。作。次。顯。明。時

對。策。有。名。聞。負。擔。箕。喪。不。外。分。幸。免。空。歸。爲。白。首。無

期。上。列。在。青。雲。含。情。若。讀。新。章。句。拭。眼。驚。看。舊。判。文。三。三。才

上。欄。外。二。有。敏。爲。不。第。一。則。都。氏。呵。責。之。甚。可。知。耳。ト。注。記。ス。

莫。道。成。功。能。管。領。一。枝。蠶。桂。謝。二。家。君。諸。儒。評。判。詩。詞

詞。實。也。上。都。氏。評。定。中。病。累。類。發。乖。違。格。律。等。及

下。元。慶。七。年。前。秀。才。講。談。新。立。法。例。狀。可。併。見。

政。事。要。畧。云。四。月。廿。三。日。及。中。上。第。一

御。傳。記。云。五。月。十。七。日。記。及。第。此。日。授。正。六。位。上。

三。代。實。錄。云。貞。觀。十。二。年。九。月。十。一。日。庚。申。文。章。得

業。生。正。六。位。下。管。原。朝。臣。道。一。加。叙。一。階。以。對。策。得

中。上。第。一。也。須。依。二。格。旨。加。中。進。三。階。上。而。本。位。正。六。位。下。仍

叙。一。階。御。文。章。云。爲。右。大。臣。請。解。左。近。衛。大。將。狀。下。略。爲。源。三。三。二。ウ

相。公。請。罷。右。衛。門。督。狀。下。略。賦。得。麥。秋。至。一。首。勸。安

辛。壇。一。八。下。略。五。月。長。齋。畢。書。懷。簡。諸。同。舍。一。問。君。十。五。日。來

心。隨。喜。無。聊。也。不。姪。初。廢。聲。一。聞。般。若。一。暫。停。念。々。一。貴

觀音^ヲ。慇懃欲^レ赴^ム花間^ノ。醉^シ。約^シ。略^シ。應^ニ容^ム月下^ノ吟^ヲ。爲^ニ向^フ香爐^ニ。經^テ案^ニ。遵^テ涼風寒露更相^ニ。尋^ム○長^ク齋畢^テ。聊言^レ懷^ヲ。寄^テ諸才^ニ。

子^ニ。訓答頌^ヲ。來^リ吟^ヲ。詠有^レ感^ヲ。更因^ニ本韻^ニ。重^ク以^テ戲^シ之^ヲ。我^ハ今苦^シ行最^ニ甘^ク。心^ヲ爲^シ。悔^ミ生^ク々^ク。殺^シ盜^シ。姪^ヲ。梵^ヲ錄^シ先^ニ。添^ヒ新^ク。發^シ意^ヲ。書^シ齋^ヲ。

更^ニ覓^テ舊^ヲ。知^ル音^ヲ。磋^シ來^リ白^ク日^ヲ。駢^ニ輪^ヲ轉^ス。放^シ得^テ炎^ヲ。風避^テ暑^ヲ吟^ヲ。歸^リ着^シ華^ヲ。腥^ニ應^ニ衰^ニ樂^ニ。世間何^レ處^ニ擬^ス先^ニ。尋^ム○旣^ニ秋^ニ花^ニ。東宮侍^ト中ノ局^ノ小^ノ (三三才)

鳴^ク鶴在^リ陰^ニ。下略。○九日待^テ宴^ヲ。同賦^ニ天錫^ヲ。難^シ老^シ。應^ニ製^シ并序^ヲ。貞觀

十
二下略

類聚国史云。十二年九月九日戊午、重陽節、天皇

御^ニ紫宸殿^ニ。賜^シ宴^ヲ。群臣^ニ。喚^シ文^ヲ人^ヲ。賦^シ天錫^ヲ難^シ老^シ詩^ヲ。内教

坊奏^シ女樂^ヲ。宴竟賜^シ祿^ヲ各有^レ差^{アリ}。三代貞録同

御文章云。冬日賀^シ船進^シ士^ヲ登科^シ。兼感^シ流年^ヲ。御船^ト弘方^ト。苦惜^シ

分陰^ヲ貢士^ノ家^ヲ。登科自^レ此甚寬^ク。賒^シ題^シ名^ヲ已^ニ舊^ク前^ノ春^ノ勝^ヲ。就^シ

賀^シ難^シ留^シ晚^ク日^ヲ車^ヲ。席上傳^シ看^シ紅桂^ヲ抄^シ。盃中勸^シ得^テ綠梨^ヲ花^ヲ。(三三ウ)
君功我業先^ニ成^リ後^ニ。不^レ恨^ム三冬景^ヲ易^ク斜^ク。
子對^シ旅^ヲ及^シ第^ヲ。
日進^シ士^ヲ得^テ預^シ登^ル。

科。○冬至^ノ日書^シ懷^ヲ。奉^シ星^ヲ。田別駕^ノ禮^ヲ。具誰^カ羞履^ヲ疎^ク疎^ク。千

門共^ニ幸^シ一陽^ヲ舒^ク。風光不^レ弁^シ微^ク和^ク風^ヲ。夜^ニ漏^リ猶^シ嫌^シ冷^ク夢^ヲ餘^ヲ。

稱^シ舊^ク秀才^ト春^ノ去^リ後^ニ。喚^シ前^ノ司馬^ト一歲^ヲ來^リ初^メ正^ク元^ヲ駕^ヲ覺^シ殊^ク今^ノ日^ヲ。再拜當^テ煩^シ手^ヲ上^シ書^ヲ。權^ニ任^シ外^ノ官^ニ。滿^テ年^ヲ抽^シ効^ヲ。儒^ト生^ノ故^ノ事^ヲ。

御傳記云。九年正月七日為^シ文章得業生^ト。拾芥抄云。文章得業生^ト秀才^ト。本文秀才可^ク併見^ル。

菅家傳云。同九年二月廿九日。任下野權少掾。同十二年三月廿三日。對策及第。同十三年正月廿日(三四才)

九日。任_ニ玄蕃助_一。ハ權任外官可_レ併見

御文章云。近_ニ以_レ冬_ニ至_レ書_レ懷_レ詩_一。奉_レ呈_ニ田別駕_一。訓答_ノ中_ノ有_ニ下_一

恐作_ニ冬雷_一。開_ニ蟄_一。促_ニ之_レ句_上。吟_レ翫_レ未_レ畢_一。重_テ寄_ニ一封_一。敘_ニ云_一。詩_一。

去_テ須_レ與_レ天_一。南雷_一鳴_レ一聲_一。擊_レ睡_レ覺_レ夢_一。有_レ感_レ更_レ用_ニ本韻_一。予

止_レ讀_レ驚_レ愕_一。已_レ悟_レ天人_一相_レ應_一。即_レ又_レ以_ニ本韻_一。重_ニ以_レ呈_レ之_一。感_一。

微_レ悠_々不_レ道_一。疎_一。雷聲_一在_レ海_一。甚_レ寬_レ舒_一。君_一憐_レ百里_一聞_レ無_レ外_一。

我_一利_レ連_レ城_一照_レ有_レ餘_一。強_レ學_レ言_レ詩_一。知_レ是_レ本_一。偷_レ閑_レ顯_レ志_一。愧_レ爲_一。

初_一。思_レ容_一唱_レ和_レ驚_ニ天意_一。願_ニ遂_レ編_レ成_レ數_レ卷_一。書_一。○殘_レ燈_一。風_レ韻_一。

ハ下略○書_レ懷_レ寄_レ安才子_一。肩_一昇_レ范_一。漢_一百_レ篇_一。書_一。大_一學_一門_一前_一日_一。

出_レ初_一。若_レ不_レ揚_レ名_一資_一。祿_一養_一。何_レ愁_レ曆_レ尾_一。數_レ行_レ餘_一。君_一有_レ歲_一莫_一暫_一停_一察_一試_一

之_一。○同_一。舍_一。小_一。飲_一。舍_レ不_レ過_ニ方丈_一。酒_一將_レ及_ニ數盃_一。夜_一。更_レ留_レ不_レ。

レ。駐_一。好_レ去_レ待_ニ時_一來_一。秀才_一早_一去_一。故_一有_レ此_一句_一。

公卿補任云。十三年正月廿九日任_ニ玄蕃助_一。ハ大鏡裏書。菅原氏系圖裏。

書 菅家傳 并同

政事要略云。十三年二月任_ニ玄蕃助_一。

御文章云。貞觀十三年爲_ニ内史_一。ハ節引自_下拜_レ戶部侍郎_一之_一御_レ詩_一注_一中_一。

御傳記云。同十三年三月二日爲_ニ少内記_一。文章_一。家_一記_一。ハ公卿補任_一裏_一書_一。菅家傳_一。并同_一。

貞觀十三

一(三五才)